



竹野 たけの

のぼる
昇

議員



制服・ランドセル・学用品等のリユース

問 4月から市内4つの中学校で制服が共通になった。袋井市が本格的にリユースに取組むことを決めたら、着る生徒の意識が変わると想像する。誰か後輩に着てもらえるように、大切にしようと思う。自分が使ったものが他者に役に立つ、循環型社会を作ることと自分も貢献できるとの認識が働く。教育的効果がある。市内全域でリユースすることについてどう考えるか。

答 袋井国際交流協会が、卒業生の家庭などから、再利用できる制服やランドセルなどを譲り受け、主に、外国籍の家庭に対し提供する取組をしております、保護者同士で融通している場合も多い。市として一括して統一に取り扱うことは考えていない。



袋井国際交流協会に寄付されたランドセル

問 袋井国際交流協会
への、制服などのリ
ユースの委託についてどう
考えるか。

答 より、保護者に対して協会の取組を周知しているほか、各学校においても協会と在庫品の状況を確認しながら保護者に情報提供するなど、連携が図られている。その結果、毎年、多くの学用品などがリユースにつながるなど、大きな効果を上げていることから、委託する必要があると考えられている。



大場 おおば

まさあき
正昭

議員



水道施設の老朽化・耐震化対策

問 今後、水道施設の老朽化耐震化対策の遅れが懸念される。一般会計からの財源を繰り入れてはどうか。

答 水道会計は独立採算による経営が原則であり、一般会計からの補助は考えていない。本年度進める水道料金等懇話会において今後の水道料金の在り方の意見をまとめてもらい、方向性を定めていきたい。

問 神戸市長田区で道路から水が噴き出す事故が発生した。市内でも同様の事故が起こり得る可能性があるのか。

答 井消防本部で毎年全
ての消火栓を対象に蓋の開
閉、漏水の有無、開閉弁の
稼働状況などを目視や操作
確認している。消防団でも
水利点検を定期的に行い状
況確認している。



雨水貯留タンク

気候変動を踏まえた
流域治水対策の推進

問 雨水貯留槽設置の普及を進めていく考えはどうか。

答 水を一時的に貯める雨水貯留槽の普及は、水を貯めるといふ直接的な治水効果とともに、流域治水への理解が深まることが期待できる。補助制度を新たに創設し、設置に向け、啓発を行っていききたい。



竹村 たけむら

眞弓 まゆみ

議員



教育費の負担軽減

不登校の児童生徒への 学びの在り方

問 本市の就学援助制度の表記の仕方は他市と比べて理解しづらいため申請されていないのではないかと。基準額の目安を

答 金額の基準は、年齢や家族構成によるため、金額を載せると誤解を与える。そのため、制度の周知をして相談ということとで判断をしている。

問 教材の備品化を検討し、家庭では最低限必要な物を購入することで保護者負担が軽減できるこの取組は資源の保全・節約への意識改革にもつながり重要だと考えるが。

答 高額の教材はその必要性も考え、適切に対応したい。備品化に関して、教育委員会の所管として必要なものとそうでないものをしっかり区別をしながら対応していきたい。



教育支援センターひまわりの様子